

# 立神峡里地公園だより

## 森のようちえん



木のぬくもりのある「ふくろう館」にて“てしごと mama's café”を開催しました。

今回は、公園の手作り土台でマフラー作りをしました。おしゃべりしながら、わきあいあいと手しごとが進んでいきました!!



ふくろう館は、子育て支援スペースとして木のおもちゃや、絵本が並んでいます。一緒に来られていた子どもたちも、遊びながら、お母様がつくられるマフラーを楽しみに待っていました。

## ☆2011年度 はるからの森のようちえん

4月から1年間通期で通っていただく参加者を募集しています。木曜コース(月2回)、土曜コース(月2回)、日曜コース(月1回)があります。森のお散歩や、畑仕事、田んぼでどろんこになったり、里山の食卓を囲むときもあります。親子での活動です。ぜひお子様と一緒に里山の暮らしや、森に入り、五感を使い共に心を育む体験をしてみませんか?

対象は、未就学児と保護者の方です。普段、保育園や幼稚園に通っているお友だちも来て来てくれます。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ・お申し込み先  
立神峡公園管理組合 ☎62-1543

## 参加者募集

### ■森のおさんぽ会

今回は、立神峡里地公園で一番高い山「オオトンゴ」の頂上を目指します!

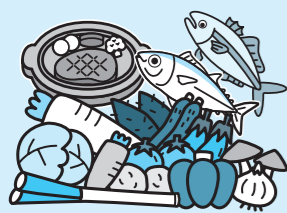
いつもとは違った里山、景色を楽しみましょう。  
日時 3月13日(日)10時~14時、3月16日(水)10時~14時  
受付 9時40分から  
参加費 親子で1,000円  
対象 未就学児および保護者  
集合 立神峡里地公園内「ふくろう館」  
持ち物 山登りに適した服装、運動靴、水筒、タオル、お弁当  
※事前に電話(☎62-1543)にてお申し込みください。

### ■春の里山学校

里山学校では旬の食材「タケノコ掘り」を行いたいと思います。

この時期だからこそできる体験です。皆さんの参加をお待ちしています。  
日程 3月19日(土)~20日(日)1泊2日  
参加費 8,000円  
対象 小学3年生~6年生  
定員 10名  
※事前に電話(☎62-1543)にてお申し込みください。3月14日(月)締め切り。

お申し込み・お問い合わせ先 立神峡公園管理組合 ☎62-1543



私たちの食卓には、日々様々な料理が並びます。お肉であったり、魚であったり、野菜であったり。いつか買物に行っても、欲しい食材がすぐに手に入ります。昔の暮らしでは、その時、その時でしか食べられない季節の食材がありました。そして食卓に並んでいたのは根菜が中心の食生活だったと聞きます。便利になりましたが、やはり季節にあった旬の食材のほうがおいしいですね。

### 季節の食材

里山暮らし、今暮らし



# 農業委員会だより

## TPP問題に関する農業委員会の動き

「環太平洋連携協定(TPP)」交渉に係る要請

平成22年11月25日に開催された農業委員会総会において、「環太平洋連携協定(TPP)」交渉に関する要請書(案)が全会一致で原案通り決定されました。それを受けて、氷川町農業委員会では、八代市農業委員会とともに地元選出の国会議員である金子恭之衆議院議員、中島隆利衆議院議員の事務所を訪れ、要請活動を行いました。



▲要請書を手渡す清田会長(右)と金子議員(手前)

金子議員本人に要請書を手渡し、  
①「食料・農業・農村基本計画」を遵守すること  
および

② TPP交渉への参加は断固反対であり、参加を行わないことを要請しました。

続いて、八代市海士江町の中島隆利衆議院議員の事務所を訪れ、中島議員本人に要請書を手渡し、同じく要請を行いました。

また、平成22年11月15日、山鹿市において開催されました市町村農業委員会会長・職員合同会議でも、熊本県農業会議、県下市町村農業委員会会長会議の連名で同じく「環太平洋連携協定(TPP)」交渉に関する要請書(案)が全会一致で原案通り決定されています。同会は12月2



▲要請書を手説明を受ける中島議員(右から2番目)

日に東京で開催されました全国農業委員会会長代表者集会の機会を捉え、国会議員会館にて直接要請活動をされました。

## 「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」における熊本県農業委員会系統組織署名活動

全国の農業団体では、農業関係者のみならず、広く一般消費者等を含め、国民理解を得るための取り組みの一環として、「TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る緊急全国集会」実行委員会(全国農業会議所が副委員長を担当)の構成団体を中心に、「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」を実施しています。氷川町においても、JA等農業団体を中心に署名活動が展開されてきました。

氷川町農業委員会でも、2月に各地区の農業委員を通して、全国農業新聞TPP参加阻止・国民理解促進特別版を配布し、署名活動を行いました。各地区の署名はたがいま農業委員会事務局で取りまとめ、今月中に熊本県農業会議へ提出する予定ですが、現在もまだ署名はお受けしています。ぜひ署名したいとおっしゃる方は、3月22日までに農業委員会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先  
氷川町農業委員会事務局  
☎52-5861

## 署名協力をお願い

政府は、現在、TPP(環太平洋連携協定)交渉への参加を検討していますが、関税撤廃の例外措置を認めないTPPが締結されれば、結果として、農林水産業をはじめ、関連産業を含む地域経済・社会が崩壊することは必至です。また、TPPにより、金融・保険・食品安全性などのあらゆる分野に関するわが国の仕組み・基準が変更を余儀なくされ、私たちの暮らしが一変してしまう可能性があります。今わが国に必要なものは、目先の経済的利益の追求や環境破壊、格差拡大ではなく、国民が望む安全・安心な食料の安定供給をはかり、農林水産業が果たしている地域経済、社会、雇用の安定確保をはかることです。

世界中から食料を買い求めることは、永続的に続けられません。地球の将来を考え、人口増大に備え、各国が食料の増産と地域社会の安定に努力することが必要です。こうしたことをふまえ、TPPから日本の食料・自然環境・国土を守り、農林水産業・地域経済・社会の更なる発展をはかるため、農業関係者・国民各層のみならずのご理解により、署名にご協力をお願いいたします。

「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」署名協力をお願いいたします。